

あいさつ

国立市教育委員会 教育長 是松 昭一

国立市立国立第二小学校は、国立市教育委員会研究奨励校として、平成30年度からの2年間にわたり、「意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成」を研究主題とし、全教員が一丸となって研究に取り組んでこられました。この度、その授業実践と成果をまとめ、発表の運びとなりましたことに敬意を表します。

本校の研究は、「表現」について「書くこと」に研究を焦点化し、今年度は、昨年度の「国語科における書く力を育てる指導」について、その手だての有効性を確かめるとともに、「国語科と他教科等を関連付けた指導」の手だてについて研究しております。他の市立小・中学校におかれましては、授業改善の一助として本校の研究成果を是非ご活用いただければと存じます。

本校の全教職員の皆様に、深く感謝申し上げますとともに、ご指導・ご助言をいただきました講師の先生方に心より感謝申し上げます。



あいさつ

国立市立国立第二小学校 校長 小林 理人

私たちは、来年度から本格実施される学習指導要領への移行を見据えて、校内研究を中心に準備を進めてきました。新しい学習指導要領の趣旨や内容の中で、特に重視したのは教育目標の具現化です。教育目標を絵にかいた餅にするのではなく、学校で身に付けたい資質・能力を明確にし、全ての教育活動を教育目標と関連させ、その達成をめざすことが学校の使命であり、役割であると捉えました。そこで、私たちは現在行われている教育活動を見直し、教育目標の達成を目的とした校内研究を進めました。

特に、この2年間は学力向上や授業改善にかかわる、教育目標「かしこく」を重点目標とし、教育目標「かしこく」の目指す子供の姿である「意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成」を校内研究のテーマとしました。さらに、児童や教員の実態やニーズをもとに焦点化し、「書く力を育てる指導」を中心に研究を進め、その具現化をめざしました。本校の研究が各学校で進めている教育課程の編成の一助となれば幸いです。



<主題に迫るために>

なぜ、書く力なの？

研究の焦点化を図るために、教育目標「かしこく」の具体的な姿「意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成」の「表現」について、子供たちの実態を調査しました。その中で苦手意識の強かった「書くこと」に絞って研究を進めることにしました。

書く力ってなに？

本校では、書くために必要な資質・能力を「書く力」とし、①「書くための技能」だけではなく、②「書こうとする意欲」や③「書く内容を考えること」を含めて捉えています。

他教科でも書く力？

今年度は、カリキュラムマネジメントを意識し、「国語科と他教科等を関連付けた指導」の手だてについて研究を進めました。そして、3年間の研究と研究発表会を通して得た成果を次年度以降の教育活動に活かし、教育目標の具現化につなげていきます。

<研究経過>

国語科と他教科等を関連付けた指導（本年度）

国語科における書く力を育てる指導（昨年度）

国語科における書く力の習得をめざした指導（H29年度）

